

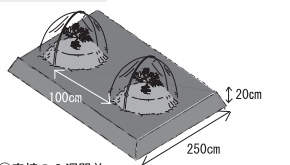
本紙はご自由にお持ち帰り下さい

本紙はご自由にお持ち帰り下さい

スイカの上手な作り方

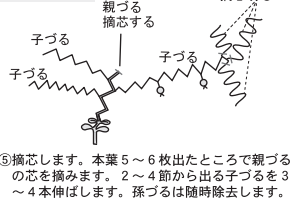


1 土作り



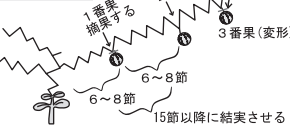
- ①定植の2週間前 苦土石灰をまいてよく耕します。(1㎡に100g)
- ②定植の1週間前 堆肥と肥料を混ぜてよく耕し、畝を作ります。(1㎡に堆肥3L・肥料100g)

3 整枝



- ⑤摘芯します。本葉5~6枚出たところで親づつるの芯を摘みます。2~4節から出る子づつるを3~4本伸ばします。孫づつるは随時除去します。

5 摘果



- ⑨摘果します。1番果(元なり)は少し大きくし、つるの勢いを落着かせてから取ります。そこから6~8節目の2番果を育てます。3番果は摘果します。
※大玉種なら1つの苗に2果、小玉種なら1つの苗に1果(1つの苗で3~4果)の収穫とします。

2 定植



- ③4月下旬以降、霜の心配がなくなってからが植えどきです。
- ④苗にビニールをかぶせます。苗の先端がビニールにつかえるようになったら、破って外気に慣らしていきます。

4 授粉・追肥



- ⑥授粉します。おぼなの花弁をとり、おしべの花弁をめしべの先端に付けます。結実させるには、人工授粉が有効です。
※スイカのめばなは1日花です。咲いた日の午前中までが授粉作業のタイムリミットです。
- ⑦根も同じ方向に伸びるため、果実が卵くらいの大きさになったら、つるの先端あたりに肥料をすき込みます。
- ⑧つるが伸びたら、つるや果実が直接土につかないように敷きわらをしましょう。

6 玉直し・収穫



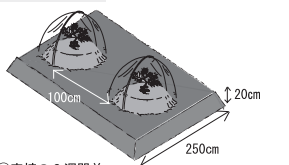
- ⑩玉直しをします。果実の直径が15~20cmになったら、まっすぐに果実を置き直します。
- ⑪収穫は、開花後(授粉後)35~40日が目安です。花落ちの部分が深くへこみ、巻きひげが半分以上枯れたころ収穫します。

野菜の育て方4-1 カネコ種苗株式会社

スイカの上手な作り方

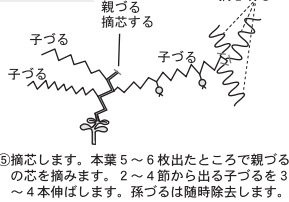


1 土作り



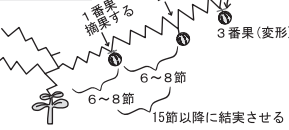
- ①定植の2週間前 苦土石灰をまいてよく耕します。(1㎡に100g)
- ②定植の1週間前 堆肥と肥料を混ぜてよく耕し、畝を作ります。(1㎡に堆肥3L・肥料100g)

3 整枝



- ⑤摘芯します。本葉5~6枚出たところで親づつるの芯を摘みます。2~4節から出る子づつるを3~4本伸ばします。孫づつるは随時除去します。

5 摘果



- ⑨摘果します。1番果(元なり)は少し大きくし、つるの勢いを落着かせてから取ります。そこから6~8節目の2番果を育てます。3番果は摘果します。
※大玉種なら1つの苗に2果、小玉種なら1つの苗に1果(1つの苗で3~4果)の収穫とします。

2 定植



- ③4月下旬以降、霜の心配がなくなってからが植えどきです。
- ④苗にビニールをかぶせます。苗の先端がビニールにつかえるようになったら、破って外気に慣らしていきます。

4 授粉・追肥



- ⑥授粉します。おぼなの花弁をとり、おしべの花弁をめしべの先端に付けます。結実させるには、人工授粉が有効です。
※スイカのめばなは1日花です。咲いた日の午前中までが授粉作業のタイムリミットです。
- ⑦根も同じ方向に伸びるため、果実が卵くらいの大きさになったら、つるの先端あたりに肥料をすき込みます。
- ⑧つるが伸びたら、つるや果実が直接土につかないように敷きわらをしましょう。

6 玉直し・収穫



- ⑩玉直しをします。果実の直径が15~20cmになったら、まっすぐに果実を置き直します。
- ⑪収穫は、開花後(授粉後)35~40日が目安です。花落ちの部分が深くへこみ、巻きひげが半分以上枯れたころ収穫します。

野菜の育て方4-1 カネコ種苗株式会社

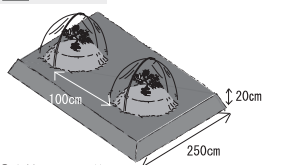
本紙はご自由にお持ち帰り下さい

本紙はご自由にお持ち帰り下さい

スイカの上手な作り方

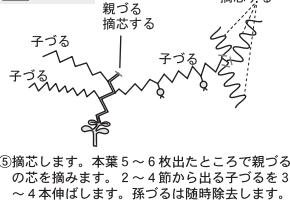


1 土作り



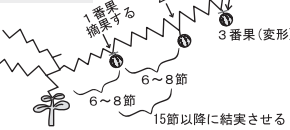
- ①定植の2週間前 苦土石灰をまいてよく耕します。(1㎡に100g)
- ②定植の1週間前 堆肥と肥料を混ぜてよく耕し、畝を作ります。(1㎡に堆肥3L・肥料100g)

3 整枝



- ⑤摘芯します。本葉5~6枚出たところで親づつるの芯を摘みます。2~4節から出る子づつるを3~4本伸ばします。孫づつるは随時除去します。

5 摘果



- ⑨摘果します。1番果(元なり)は少し大きくし、つるの勢いを落着かせてから取ります。そこから6~8節目の2番果を育てます。3番果は摘果します。
※大玉種なら1つの苗に2果、小玉種なら1つの苗に1果(1つの苗で3~4果)の収穫とします。

2 定植



- ③4月下旬以降、霜の心配がなくなってからが植えどきです。
- ④苗にビニールをかぶせます。苗の先端がビニールにつかえるようになったら、破って外気に慣らしていきます。

4 授粉・追肥



- ⑥授粉します。おぼなの花弁をとり、おしべの花弁をめしべの先端に付けます。結実させるには、人工授粉が有効です。
※スイカのめばなは1日花です。咲いた日の午前中までが授粉作業のタイムリミットです。
- ⑦根も同じ方向に伸びるため、果実が卵くらいの大きさになったら、つるの先端あたりに肥料をすき込みます。
- ⑧つるが伸びたら、つるや果実が直接土につかないように敷きわらをしましょう。

6 玉直し・収穫



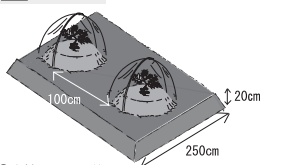
- ⑩玉直しをします。果実の直径が15~20cmになったら、まっすぐに果実を置き直します。
- ⑪収穫は、開花後(授粉後)35~40日が目安です。花落ちの部分が深くへこみ、巻きひげが半分以上枯れたころ収穫します。

野菜の育て方4-1 カネコ種苗株式会社

スイカの上手な作り方

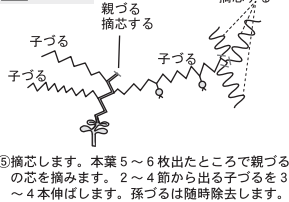


1 土作り



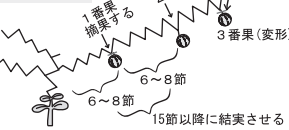
- ①定植の2週間前 苦土石灰をまいてよく耕します。(1㎡に100g)
- ②定植の1週間前 堆肥と肥料を混ぜてよく耕し、畝を作ります。(1㎡に堆肥3L・肥料100g)

3 整枝



- ⑤摘芯します。本葉5~6枚出たところで親づつるの芯を摘みます。2~4節から出る子づつるを3~4本伸ばします。孫づつるは随時除去します。

5 摘果



- ⑨摘果します。1番果(元なり)は少し大きくし、つるの勢いを落着かせてから取ります。そこから6~8節目の2番果を育てます。3番果は摘果します。
※大玉種なら1つの苗に2果、小玉種なら1つの苗に1果(1つの苗で3~4果)の収穫とします。

2 定植



- ③4月下旬以降、霜の心配がなくなってからが植えどきです。
- ④苗にビニールをかぶせます。苗の先端がビニールにつかえるようになったら、破って外気に慣らしていきます。

4 授粉・追肥



- ⑥授粉します。おぼなの花弁をとり、おしべの花弁をめしべの先端に付けます。結実させるには、人工授粉が有効です。
※スイカのめばなは1日花です。咲いた日の午前中までが授粉作業のタイムリミットです。
- ⑦根も同じ方向に伸びるため、果実が卵くらいの大きさになったら、つるの先端あたりに肥料をすき込みます。
- ⑧つるが伸びたら、つるや果実が直接土につかないように敷きわらをしましょう。

6 玉直し・収穫



- ⑩玉直しをします。果実の直径が15~20cmになったら、まっすぐに果実を置き直します。
- ⑪収穫は、開花後(授粉後)35~40日が目安です。花落ちの部分が深くへこみ、巻きひげが半分以上枯れたころ収穫します。

野菜の育て方4-1 カネコ種苗株式会社

野菜の育て方4-1 スイカの育て方(表面)